

にし西

■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1

TEL 641-2400 内線224~227 FAX 641-2405

◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz
毎週月曜日午前11時～

◎西区協力番組「西区まちセン最前セン」同局毎週木曜日午前11時～

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

◎区民のページ 2009・11



まちのり

「花園」へ10年連続出場を決めた
山の手高校ラグビー部 主将

ジヨシュア・モエマロ君(18)

○全国高校ラグビーフットボール大会

年末年始(12月27日～1月7日)に大阪府東大阪市の近鉄花園ラグビー場で開催される、高校ラグビーの甲子園ともいえる大会。今年では第89回。

○札幌山の手高校

西区山の手2条8丁目

TEL 611-7301 FAX 641-3795

ホームページ <http://www.yamanote.ed.jp/>



◎花園出場を決めた後、チームで記念撮影。前列中央がモエマロ君。

全国高校ラグビーフットボール大会「花園」へ、十年連続十回目の出場を決めた山の手高校ラグビー部。その主将を務めるのがニュージーランドからの留学生、ジヨシュア・モエマロ君です。
八歳から地元のクラブチームでラグビーを始めたモエマロ君は、平成十九年一月、当時山の手高校で活躍していた同郷のマイケル・リーチ選手にあこがれて来日しました。
日本で一番驚いたことは「雪の中の練習」と笑うモエマロ君は、言葉や習慣の違いも明るい性格と周囲の支えで克服し、一年生からレギュ

Rugby is my life (ラグビー イズ マイ ライフ)

ラーとして活躍。今年の一月には自ら立候補して留学生初の主将となりました。
厳しい練習も全員が声を出し合い、笑顔で頑張ることで「きついけれど楽しい」そう。そんなチームに今回、大きな試練が待っていました。
「チームがばらばらだった」と振り返る予選大会準決勝では、個人プレーやミスが続ぎ、一時は逆転されるなど大苦戦。辛勝したものの試合後のミーティングで監督から「十五人一体となったラグビー」を思い出すよう諭され、みんなでお話し合いました。そして気持ちを入れ替えて臨んだ決勝戦。モエマロ君は誇らしげにこう言います。「ミスがあってもお互いを責め合うのではなく、カバーし合うことができる最高のチームになった」。
卒業後も日本の大学でラグビーを続けたいと考えるモエマロ君。まずは最高の仲間たちと共に花園へ挑みます。「テレビに映るから楽しみ」と笑った後に「練習を続けてまだまだレベルアップします。一戦一戦を大事にしていきたい」と、それまで絶やさなかった笑顔をぐっと引き締め、意気込みを語ってくれました。

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんからのご希望やご意見をお寄せください。はがき、ファクス、Eメール nishi@city.sapporo.jp で西区総務企画課広聴係(上欄)へ。